

富士山清掃に参加しました。

場所：田子の浦海岸 静岡県富士市五貫島 富士川河口付近

日時：2014年10月16日(木)

日本リユース業協会恒例の富士山清掃に行ってきました。台風19号の影響が心配されましたが、運よく富士山が見える晴天になり、気持ちよく清掃作業ができました。



開会式の様子です。「日本一の山が富士山なのは誰でも知っているが二番、三番は知らない人が多い…」と、自らの経営哲学に通じる会長の言葉に一同感服。



大量の流木。これを片づけるとなると大変な作業になると思いましたが、流木は自然のものなのでこのままに、との富士山クラブの係の方の説明に、ほっとした人も。



束の間の休憩です。海風が爽やか。



ゴミの集積が始まりました。手前に薪ストーブが写っています。その他に自動車タイヤが8本。



自動車ゴミ、家庭ゴミ、業者ゴミ、危険物、可燃性ゴミ、カン・ビン類等に分類されます。



搬送トラックへの積み込みです。ここも参加者が手伝います。まさに人海戦術。



プロの手によって段取りよく積み立てていきます。現場調査、行政調査・申請の手続きを経ての最後の段階の活動です。

前日に初冠雪があり、その雄雄しい姿も一段と映えます。表富士の典型でしょうか。

当日は晴天に恵まれ、初冠雪の富士山がくっきりと眺望できました。数種類に選別しながらゴミを集める作業ですが、富士山クラブの皆さまのご指導により着々と進んでいきます。膨大な量の流木もその対象かと一時茫然となりましたが、自然ゴミなので回収の要なしと聞き、一同ほっと安堵。以前、クラブの方から、人が出すゴミの中で食べ物がもっとも悪いと聞いたことがあります。高カロリーのため、生態系に悪影響を及ぼすのだそうです。

総勢 188 名で、半径 500mほどの範囲を一時間半活動しただけでも約 1 トンものゴミが収集できました。辺りの観光地に訪れた人たちのインモラルな行為の結果といえればそれまでですが、世界文化遺産登録されたからということではなく、通常の観光地としての保全方法を再考する必要があります。日本はモラルが高い、という評価もありますが、ここを見るかぎり、モラリストばかりではないことがわかります。バスへ戻る道筋でも空き缶やビン等のゴミが散見されました。富士山一帯でいったいどれほどのゴミがあるのでしょうか。

それにしても、富士山のみはらしは絶景です。正面に立ってみると、普段視界に入る自然の眺望からさらに一段高いところに山頂が見えます。ここでしか味わえない新鮮な感覚です。そのまま駆け上がっていけるかもしれないと思わせるような稜線も、これより急でも緩やかでも富士稜線の美観は損なわれるでしょう。多くの人が富士山に魅了される理由かもしれません。

富士山クラブおよび富士急トラベルの皆さまにたいへんお世話になりました。ありがとうございました。またの機会に再び清掃活動できればと思います。

以下に、富士山クラブのレポートがあります。ご参照下さい。